

術検査課の体制を強化し、検査対象の範囲を拡大するとともに、工事執行のチェック機能の充実を図っていく。

◆関連質問

・市建設工事損失補償事故処理要綱について
(公明党)

学校教育ビジョンⅡ

(水曜会)

問

本市学校教育ビジョン策定から3年が経過し、その間、4つの重点目標に取り組みられてきたが、新年度からの学校教育ビジョンⅡにおいて、重点的に取り組まれる内容は。

答

児童生徒に「生きる力」を育むためには、質の高い授業が展開される必要があり、教師の授業力の向上に努めていく。

教育活動においては、情報を正しく理解し道筋を立てて考える思考力や、自分の気持ち・考えを、相手・場面に応じて適切に表す表現力など「ことばの教育」を推進して読解力の育成を図る。

また、児童生徒がさまざまな課題に柔軟に、かつ、たくましく対応し、社会人、職業人として自立

していくことができるようにする「キャリア教育」に努めていく。

◆関連質問

・学校評価推進事業の目的、成果と課題
(公明党)
・ビジョンⅡの趣旨と内容
(新政クラブ)

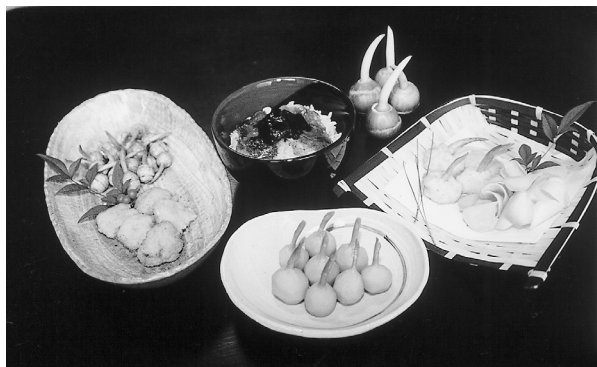
食育について

(緑風会)

問

知育、徳育、体育の基礎となる食育だが、国の食育基本法を踏まえた本市の「食育の推進に関する施策についての計画」への取り組みは。

また、本市の食育の取り組み状況は。



福山特産のクワイ料理

答

計画の策定については、国が作成する食育推進基本計画に基づき取り組んでいく。

食育は、これまで「健康ふくやま21」の推進の中で取り組んできた。これをもとに保健所、児童部、教育委員会、農政課などや、「食」にかかわる関係団体などとも連携して推進していく。学校給食でも、地元産の「くわい」を通して生産者、納入業者、仲介業者が児童と交流したが、今後も同様の取り組みを全校で進め、「食」を大切にす態度の育成に努め、家庭との連携を図っていく。

特別支援教育体制推進

(緑風会)

問

17年度、県教育委員会から「特別支援教育体制推進事業」の推進地域の指定を受けたが、これまでの取り組みは。

また、事業実施要項の策定時の人的体制とその内容は。さらに、重点校の基準と4月から導入予定の学校支援員の体制は。

答

この事業は校内支援体制の整備を目的としたもので、本市のすべての小中学校に校内委員会の設置と特別支援教育コーディネー

ターの指名を行い研修をしてきた。今後は、特別支援教育士を活用するなど、教職員の専門性を高め、校長のリーダーシップのもと、コーディネーターを中心に各学校の校内委員会が機能するよう取り組んでいく。

学校支援員は、担任の補助的働きをしたり、児童生徒の実態によっては、別の教室で学習の補助など教職員のサポート的な役割を行う。また、事業の実施要項や配置校などについては現在検討している。

◆関連質問

・支援員配置、校内体制の整備状況
(公明党)

福山市民憲章

- 1 心に太陽をもち胸をはって元気に働きましょう
- 1 小さな親切を勇気をもって行いましょう
- 1 きまりを守りよい習慣をつくりましょう
- 1 子どもたちのために明るい家庭と美しい町をつくりましょう
- 1 文化を育て健康で平和な社会を築きましょう
- 1 人権を尊重し差別のない人間関係をつくりましょう